

藝術活動の源であるヒュッテ再生に向けてご支援をお願いいたします！



ブナやシラカバの雑木林を背にスケッチ



夜のヒュッテに響く調べ



学生たちの笑顔がヒュッテを支えています！



9月の藝祭（大学祭）アートマーケットでのチャリティ販売



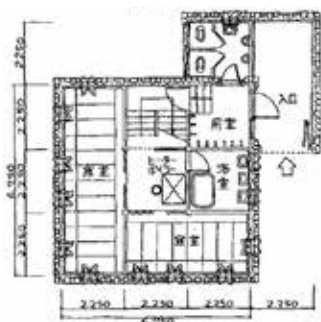
2022年には緊急対策を実施しました

黒沢ヒュッテは1960年に当時の藝大山岳部員学生の構想から始まり、多くの困難を経て熱き思いにより建設されました。標高1,200mの尾根上に建つ大学山岳部の山小屋は64年にわたり登山やスキー合宿、そして芸術制作活動の拠点として藝大生のみならず多くの方と青春を刻んできました。空に飛び立ちそうな片流れの屋根と、緑の中に浮く感覚をもたらすバルコニーが特徴的なこの美しい建物は建設以来藝大山岳部員の毎年の自主整備による維持がされてきました。戦後の登山ブームの一端を示す山岳建築であり、規範となる意匠が認められ2018年に国登録有形文化財（建造物）に指定されました。

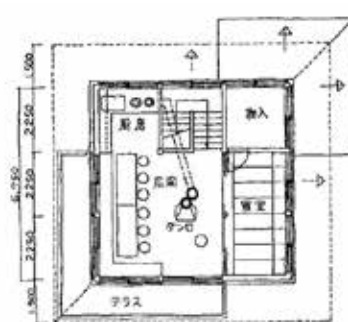
しかし2020年からのコロナ禍により部活動が制限され、思うようにヒュッテのお手入れができない中、豪雪期に屋根からの雪庇の落下によりバルコニーが直撃を受け破壊されてしまいました。加えて長年の風雪で屋根も大きく傷んでおり、このままではヒュッテは崩壊してしまいます！

我々は愛着のあるこのヒュッテを将来に渡って活用していくために東京藝術大学山岳部OB会を一般社団法人化し、現役藝大山岳部学生とともに大規模な修復を計画していますが、厳しい山岳地帯にあるため工事は雪の無い季節に限られ、資材高騰に加え資材搬入などにも多額の資金が必要です。DIYでできること専門業者に依頼することとを組み合わせながら修復自体を制作活動と捉えて取り組みます。生きた文化財としてアートを創造し、積極的な発信を活動の軸に加え、どなたでも集えるアートと山岳活動の拠点として皆様にお使いいただける未来を目指して募金活動を行っています。

この美しい黒沢ヒュッテを未来に遺し、自然の中でアートを育む拠点として次の世代へと繋げるため、皆様の温かいご支援をぜひよろしくお願いいたします！



1階



2階

山本学治による設計原案

【東京藝術大学山岳部黒沢ヒュッテ】
登録有形文化財（建築物）
登録番号 20-0537

規模・構造
延床面積約 110m²
1階コンクリートブロック造
2階木造
1960年（昭和35年）築
所在地
長野県大町市平字黒沢
鹿島槍スキー場隣接

ご寄附受付口座：

GMO あおぞらネット銀行 法人第二営業部
普通 1735993 シヤ) ウエノヤマノカイ

このQRコードから登録フォームへ進みご記入をお願いします。

一般社団法人 上野山の会 + 東京藝術大学山岳部

代表 坂口寛敏（東京藝術大学名誉教授）

問い合わせ先 ueno.yama.no.kai@gmail.com

ホームページ <https://www.uenoyamanokai.com>

